

(共同リリース)

2026年6月1日
日本航空株式会社
株式会社JALエンジニアリング
三菱重工業株式会社

JALエンジニアリングと三菱重工、 航空機アフターマーケット事業の合弁会社「Aero Breath」を設立

- ◆ 航空機の整備需要拡大に対応し、運航効率と整備作業効率を高める新たなプラットフォーム構築へ
- ◆ 県営名古屋空港を拠点に、2026年度中にリージョナル機の整備事業を開始予定

日本航空株式会社(以下、JAL)のグループ会社である株式会社JALエンジニアリング(以下、JALEC)と三菱重工業株式会社(以下、三菱重工)は、航空機のアフターマーケット事業に関する検討を重ね(*)、このたび、航空機整備を中心としたアフターマーケット事業の合弁会社「株式会社Aero Breath(エアロ・ブレス)」を2026年6月1日付で設立しました。



航空旅客需要の回復に伴い高まる航空機整備のニーズに応えるため、Aero BreathはJALおよびJALECの豊富な運航・整備ノウハウと、三菱重工の高度で広範な技術基盤を融合させ、新たな航空機整備プラットフォームを構築します。これにより、整備作業の効率化と機材品質の向上を図り、航空機の地上滞在時間を最小化することで、運航効率のさらなる向上を実現します。

Aero Breathは愛知県の県営名古屋空港を拠点とし、各種許認可の取得を前提に、2026年度中にリージョナル機の機体整備事業を開始する計画です。

JALECと三菱重工は、Aero Breathと連携しながら、日本の航空機アフターマーケット事業の発展に寄与し、航空業界全体の持続可能な成長と安全・安心な運航の堅持に貢献してまいります。

【会社概要】

名称	株式会社Aero Breath (英文名: Aero Breath Co., Ltd)
代表者	代表取締役社長 的場 太郎(まとば たろう)
所在地	愛知県西春日井郡豊山町大字青山字社宮司4677-1
設立日	2026年6月1日
事業内容	航空機整備を中心としたアフターマーケット事業(リージョナル機の機体整備など)
資本金	7,900万円
株主構成	株式会社JALエンジニアリング:51% 三菱重工業株式会社:49%
企業サイト	https://www.aerobreath.co.jp

(*)2024年8月17日付リリース | JALと三菱重工、航空機のアフターマーケット事業等について共同検討を開始
<https://press.jal.co.jp/ia/release/202408/008277.html>